

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	患者脳における創薬標的分子の測定及びバイオマーカーの探索
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象者：2001 年 4 月 1 日以降、新潟大学脳研究所病理学分野で病理診断され、その脳組織が同施設で管理されている方の中から、臨床病理学的に診断が確定している、神経疾患を持たない患者さん、パーキンソン病（以下 PD）の患者さん、筋萎縮性側索硬化症（以下 ALS）の患者さん、多系統萎縮症の患者さんです。その中から、性別、年齢をできるだけ合わせてそれぞれ 18 例、17 例、9 例、6 例 合計 50 例を選定し、対象とします。
③概要	タンパク質の分解や細胞の代謝に注目して、PD を適応症として治療の可能性の検証を進めています。今回、PD 病態との関連を調べるため、こうした機能に関連するタンパク質について、PD 患者さんの死後脳における発現量を測定します。また、PD 病態に関連したバイオマーカーを探索するため、PD 患者さんの死後脳組織を用いて、プロテオミクス及びリピドミクス解析を実施します。また、タンパク質や脂質の変化に注目して ALS を適応候補として治療の可能性の検証を進めています。このために、ALS 患者さんの死後脳を用いて、それらの変動を解析します。
④申請番号	2025-0154
⑤研究の目的・意義	PD 患者さんの死後脳における標的候補分子の発現量の測定及びバイオマーカーを探索します。また、ALS 患者さんの脳におけるタンパク質や脂質の変動を調べます。これにより新たな創薬につながる可能性があります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学脳研究所病理学分野のスタッフにより、病理解剖にて採取した脳組織、及び付随する患者さんの情報（年齢、性別、臨床診断名、罹病期間）を利用します。凍結脳組織とそれに付随する情報は、個人が特定できない状態で、小野薬品工業に提供され、同社の研究所において質量分析計を用いて凍結脳組織から蛋白質の発現量、脂質を定量します。
⑧利用または提供する情報の項目	病理解剖にて採取され、保存されている凍結組織（脳）、患者さんの情報（年齢、性別、臨床診断名、罹病期間）
⑨利用する者の範囲	新潟大学 脳研究所 病理学分野 小野薬品工業株式会社ニューロロジー研究センター
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳研究所病理学分野 柿田明美 小野薬品工業株式会社ニューロロジー研究センター 小宮 貴樹

⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学 脳研究所病理学分野 氏名：柿田明美 Tel：025-227-0633 FAX: 025-227-0817 E-mail：kakita@bri.niigata-u.ac.jp
----------	---